

**評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重**

**評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成**

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input type="radio"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input type="radio"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・正面玄関に保育課程・保育目標を掲示 ・保育課程・保育目標・職員保育マニュアル・保育指針等を各職員にファイルとして配布し、会議にて話し合っている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員へ配るファイル ・職員会議録

評価項目 I-1-1(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input type="radio"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="radio"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input type="radio"/> 保育課程は入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・毎年入園式に於いて、保育課程・保育目標の説明をしている。 ・保護者との個別面談に於いて、個別に必要と思われることは説明をしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・園のしおり ・個別懇談記録

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input type="radio"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input type="radio"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input type="radio"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・担任以外の職員も気づいたことをまとめておき、クラス会議や全体会議にて話し合い、理解を深め次に繋げるように努力している。 ・一対一の時間がひつようと思われる場合は、他の職員がサポートに入り保育に穴が開かないように気をつけている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員会議録 ・クラス日誌

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-1(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・新入園児説明会時、職員と個別面談を行っている。 ・新入園児説明会終了後、職員会議にて周知している。 ・入園後担任との個別面談を行っている。 ・入園式終了後、職員会議にて周知している。 ・4、5、6月、保護者、担任、園長にて三者面談を行う。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員会議録 ・入園時児童調査票 ・入園時面談表 ・個別面談記録 ・クラス日誌

評価項目 I-2-2(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分行っている。	
	<input type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートでしている	
<input type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・新入園児説明会及び入園式での個別面談で、家での様子を聞き取り4月からの生活に無理のないよう慣らし保育の期間などを相談している。 ・保護者との連絡ノートを行っているものの、必ず何かあった場合はお迎えにて口頭で伝えるようにしている。 ・新入園児の泣き声や状況の変化に、在園児の気持ちも不安定になることを考慮し、前担任がクラス関係なく関わられるように職員一同配慮している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・入園時面談表 ・乳幼児連絡ノート

評価項目 I-2-3(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
<input type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・日々気づいたことを担任同士や園長と話し、クラス会議等で見直し次月の計画に繋げていくようにしている。 ・全体会議にて、一人一人のケース会議を行い職員の意見を聞き話し合っている。 ・日々の送迎の際の保護者の言葉は常に職員同士周知し、必要であれば会議等で話し合うようにしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員会議録

評価分類類 I - 3 快適な施設環境の確保

評価項目 I - 3 - (1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input type="radio"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input type="radio"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input type="radio"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・毎朝出勤時(AM7:00)窓を開け空気の入換えを行っている。 ・各クラス点検表にて、毎日のチェックを行っている。 ・各クラス、オーディオやピアノを設置し、適宜使用している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・各クラス点検表 ・温湿度計の設置 ・遮熱シートやすだれの設置

評価項目 I - 3 - (2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input type="radio"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input type="radio"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・便がゆるいとき等、すぐに沐浴を使えるようにしている。 ・夏場プール遊びの際は、全身を温水シャワーで洗う。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・各クラス点検表

評価項目 I - 3 - (3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input type="radio"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input type="radio"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・日中3、4、5歳児の部屋を2歳児が一緒に使用したり、外やテラスなどで遊ぶ時間を合わせたり、一緒に散歩へ出たりと、異年齢の交流は多くある。 ・0、1歳児の保育室は一つの空間になっているが、パーティション等で区切り、各クラスゆったりと過ごせるよう工夫している。 ・1歳児2歳児クラスにおいては、食事ベースの個人差が大きいため、食べる空間と寝る空間を確保している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・当日の保育をご覧頂きたいと思います。

**評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力**

**評価項目 I-4-(1)**

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 3歳未満児については、個別指導計画を作成している。	
	<input type="radio"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input type="radio"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
<input type="radio"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・個別指導計画が必要な児童の保護者には、面談や日々の送迎時に説明したり、助言を求めたりしている。必要があれば、2ヶ月に一度約1時間ほどの面談を行っている。 ・特に4, 5月は子どもの様子(環境の変化等)に細かく寄り添うようにしている。 その都度職員同士話をしたり、送迎時に保護者と話す時間を確保している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・個人月案

**評価項目 I-4-(2)**

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育所児童保育要録を小学校に送付している。 <b>※必須基準</b>	
	<input type="radio"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input type="radio"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input type="radio"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
<input type="radio"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。		
B	必須基準を満たしている。そのうえでいずれか2つ以上は該当する。	
C	必須基準を満たしていない。または満たしたうえで、それ以外項目で1つ該当するか全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・児童の状況に変化があった場合、職員間連絡ノートに記入し、園長が確認する。その後全職員に回覧を行いミーティング、会議等で再度周知している。 ・現担任から次担任へ、申し送りは行っているが、年度の終わりの頃時間を設けお互い話をしながら行うことが多い。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・児童表(1) 児童表(2) ・クラス日誌 ・職員間連絡ノート

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input type="radio"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。	
<input type="radio"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。		
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・主にアレルギーやダウン症への対応として、個別にケース会議を行ったり、症状が出たときにはその場で担任・栄養士・園長で話し合うようにしている。 ・研修の報告を全体会議にて行うようにしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・保育業務日誌(前年度は管理記録簿) ・クラス日誌 ・個別ファイル

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input type="radio"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input type="radio"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。	
<input type="radio"/> 障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つは該当する、または全く行っていない。	
過去3年間の受け入れ状況(一時保育での受け入れを含む)		
H29.4.1 2歳児クラス ダウン症児1名		
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・障害児と障害のない子どもとの関わりについては、両者に負担のないように午睡時間等把握している。 ・母親と2ヶ月に一度の面談に時間を設け、療育センターや病院との関わり等共用出来るよう努めている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・個別ファイル

評価項目 I-5-(3)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input type="radio"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input type="radio"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
<input type="radio"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・今現在の事例はないが、以前0歳児において虐待が疑われるケースがあり、姉が通う園と西区役所と連携をはかり、児童相談所に繋がったケースがある。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・個別ファイル

評価項目 I-5-(4)

アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input type="radio"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input type="radio"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、除去食を提供している。	
	<input type="radio"/> 除去食を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
過去3年間の受け入れ状況(一時保育での受け入れを含む)		
H27年度 9名 H28年度 10名 H29年度 5名 (途中変更あり)		
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・朝のミーティング、会議、特に年度の最初は気をつけて、変更があるたびに報告・周知している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・生活管理指導表

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input type="radio"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
過去3年間の受け入れ状況(一時保育での受け入れを含む)		
H25~H26年 1名 ご両親ネパールの方 現在0歳児 1名 父スロバキア 母日本		
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・ご両親共に言葉は話せるが字が読めない等の対応は過去あった。園だよりの漢字部分に平仮名をふったり、全てに於いて言葉で説明を行ったりした。 ・宗教上、豚肉や牛乳を摂取できないということもあったので、除去している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員間連絡ノート ・児童表

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)

保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	B
	<input type="radio"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input type="radio"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input type="radio"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。		
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・送迎の際、保護者と多く接触するように心がけている。必要があればこちらから園に対しての事や、行事への疑問点など、しっかりと説明するようになっている。 ・アンケートは前年度から取り始めているが、直接保護者の方とお話をして更に意見を聞き取ったり、解決したりしていたので、今年度は園だより等にのせて公表していこうと考えている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・苦情申出窓口の設置について(玄関掲示) ・アンケート(配布)

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	B
	<input type="radio"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がとられている。	
	<input type="radio"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
<input type="radio"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。		
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・苦情とまではいなくても、保護者から意見を頂いた際に、朝ミーティングや個別指導を行いその旨を保護者へ伝えている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・苦情記録簿 ・職員間連絡ノート

**評価領域Ⅱ サービスの実施内容**

**評価分類Ⅱ-1 保育内容**

**【遊び】**

**評価項目Ⅱ-1-1(1)**

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input type="radio"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input type="radio"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input type="radio"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・ままごとやブロックなどのコーナー遊び、手先の玩具の際はテーブルを出すなど環境を整理している。 ・外遊びでは桜の切り株を利用し机にしたり、デッキで野菜を栽培している。 ・園庭が狭く、鉄棒を設置出来なかったため、折りたたみの鉄棒を外遊びの際デッキに設置し自由に使えるようにしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・当日の保育をご覧頂きたいと思います。

**評価項目Ⅱ-1-1(2)**

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input type="radio"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input type="radio"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input type="radio"/> 自由遊びの中で一人一人が興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・虫が好きな児童には、図鑑を園庭に持って行き調べたり出来るようにしている。 ・年齢に応じたルール遊びを取り入れたり、子どもの「やりたい!」という気持ちを大切にクラス活動に反映したりしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・クラス日誌

**評価項目Ⅱ-1-1(3)**

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input type="radio"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input type="radio"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・みんなで育てた野菜を給食に入れてもらったり、年長さんのお泊まり保育で使用したりしている。 ・近くの八百屋さんやお店へ行き、その日使う野菜やプリンをお買い物に行く。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・園外保育記録簿 ・食育計画

評価項目Ⅱ-1-(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input type="radio"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・お絵かきの紙を用意し、好きなきに自分のお道具箱からクレヨンやクーピー、ペンを取り出し使えるようにしている。 ・遊びの途中の大作を、次の自由遊びの時間に継続出来るよう、棚の上などに取っておくようにしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・当日の保育をご覧頂きたいと思います。

評価項目Ⅱ-1-(5)

遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input type="radio"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・3、4、5歳児室は、食事後等一緒に本を読んだり、外遊びで自由に開け合う時間を設けている。 ・基本的には担任が対応するが、他の職員の手が必要と感じるときは躊躇せず間に入るようにしている。職員の対応に関して疑問に思ったことは、園長も含めその都度話をするようにし、同じ事が繰り返されないよう、次に繋がっていくよう指導している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員保育マニュアル(個人票) ・当日の保育をご覧頂きたいと思います。

評価項目Ⅱ-1-(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input type="radio"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input type="radio"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input type="radio"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・鉄棒や縄跳び等、子ども達のやりたいという気持ちを大切に、発達に応じて援助や声かけが出来るように工夫している。 ・園庭やテラスなど、クラス毎に場所を広く使えるよう工夫したり、遮熱シートで日陰を作るなどして暑い時期も外で気持ちよく遊べるようにしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・個人月案や経過記録 ・クラス日誌等

【生活】

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
次の全てに該当する。		B
<input type="radio"/>	保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
<input type="radio"/>	子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
<input type="radio"/>	子どもたちが食事及びその過程(調理・配膳・片づけ)に関心を持つよう工夫している。	
	下記2つの対象となる乳児がいる <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="radio"/>	乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
<input type="radio"/>	授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つ該当する。	
C	Aの中で1~2つは該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は1つ該当する、またはまったく行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・授乳に関しては、入園説明会にて母親との個別面談を行い、家での授乳リズムに合わせて園でもおおよそ決められた時間に抱っこにて提供している。 ・好き嫌いはある程度時間を制限し、本人の意思を聞きながらも頑張ることの出来るよう工夫して声かけを行っている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・クラス日誌 個別月案 経過記録 等 ・調乳表 ・ミルク摂取量表

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
次の全てに該当する。		A
<input type="radio"/>	季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
<input type="radio"/>	食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
<input type="radio"/>	食材や食器の安全性に配慮している。	
<input type="radio"/>	子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・月に一度「行事食」の日を設け、季節感を大切にしたいだけのこご飯やちらし寿司、子どもが喜ぶメニューを考え提供している。 ・年長さんは2月になると、数ある献立の中から好きなメニューを選び、栄養士さんにリクエストできる。 ・食器や食具は劣化等を考慮し、新しく購入している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・給食だより

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
次の全てに該当する。		A
<input type="radio"/>	子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
<input type="radio"/>	栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
<input type="radio"/>	残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・保育士が栄養士と共に好き嫌いを把握し、声かけを行ったり、子ども達の気持ちにより添うように配慮している。 ・栄養士と調理員は交代で保育室の給食の時間を見に行くようにしている。 ・3、4、5歳児においては、お代わりやごちそうさまのやりとりを栄養士と直接行い喫食状況を把握するようにしている。 ・変更点や注意点は、会議や毎朝のミーティングにおいて確認・周知し		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・クラス日誌 ・給食会議録

評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="radio"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input type="radio"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に保育所で提供する食事に対する関心がもてるようにしている。	
<input type="radio"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、保育所で配慮していることを知らせている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・毎年一回6月に、クラス懇談会を行い給食のカレーを提供している。 ・給食だよりに子ども達に人気のレシピを載せたり、個人的に今日のメニューを聞かれた場合はレシピを手書きし提供するなどしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・給食だより

評価項目Ⅱ-1-(11)

午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input type="radio"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input type="radio"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている。	
<input type="radio"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・0歳児は5分に一度、1歳児は10分に一度睡眠チェックをしている。 ・オルゴールやクラシックの曲をかけている。 ・子どもによって寝方や安心できる物を把握し、提供している。 ・4、5歳児は夜の就寝時間や休みの日のリズムを保護者と確認し、個別に対応している。現在、4、5歳児18人中、午睡ありの児童は3人ほど。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・睡眠チェック表(0, 1歳)

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 一人一人の排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input type="radio"/> トイレトレーニングは一人一人の発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input type="radio"/> 保育所での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
<input type="radio"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・トイレトレーニングは、保護者の意向を聞き取り、本人の意思を最優先に、個別に対応している。 ・年々便秘に悩む保護者の話を多く聞くようになった為、排便の様子など細かくお迎え時に伝えるようにしている。便秘気味の子ども保護者には栄養士がまとめた便通が良くなる食材のリストを渡したり、直接話したりして対応している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・クラス日誌 個人月案 経過記録

評価分類類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

【健康管理】

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
	<input type="radio"/> 既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
	<input type="radio"/> 必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
	<input type="radio"/> 食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・既往歴や健康状態は、常に毎日の登降園の際に確認している。 ・発疹やかきこわし、その他気になる症状がある場合、職員間で確認を取り感染症などの可能性も含め受診を勧めたりしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員保育マニュアル ・手洗い歯磨きの仕方(掲示)

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
	<input type="radio"/> 健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回行っている。 ・気になる子は事前に保護者と話をしたりして、嘱託医に聞くようにしている。 ・毎年同じ先生にお願いすることにより、経過観察ができて必要な子は専門医に繋がられるのでとても助かっている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・健康診断歯科健診結果表 ・クラス日誌など

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 感染症等への対応に関するマニュアルがある。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
	<input type="radio"/> 保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
	<input type="radio"/> 感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
B	必須基準を満たしている。そのうえでいずれか2つ以上は該当する。	
C	必須基準を満たしていない。または満たしたうえで、それ以外項目で1つ該当するか全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・入園式のしおりの説明の際、説明を行っている。 ・感染症が発生した場合、玄関のボードに記入し、感染症の詳細や対応を掲示している。インフルエンザなど、明らかに流行が予想される物に関しては園だよりにてお知らせしている。 ・園児や園児のご家族の発生状況はミーティングにて確認している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・園のしおり ・病気の詳細を記した物(掲示物) ・感染症対策マニュアル

【衛生管理】

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている	
	<input type="radio"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
	<input type="radio"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・H27年6月に新園舎での保育がスタートした際、全職員でマニュアルを確認しながら見直し作成している。 ・感染症の発生率が高くなる時期の会議等で再度確認し周知している。 ・職員の手指からの感染を防ぐため、手袋の使用、消毒方法の徹底に努めている。	根拠(記録・配布物・掲示など) ・感染症予防マニュアル ・清掃チェック表	

【安全管理】

評価項目Ⅱ-2-1(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	B
	<input type="radio"/> 安全管理に関するマニュアルがある。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input type="radio"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input type="radio"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="radio"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
<input type="radio"/> 職員が救急救命法を身につけている。		
B	必須基準を満たしている。そのうえでいずれか3つ以上は該当する。	
C	必須基準を満たしていない。または満たしたうえで、それ以外項目で1~2つ該当するか全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・救命救急法は雇用してすぐに研修に参加している。 ・事故予防マニュアルにそった点検を行っている。 ・事故予防マニュアルを各クラスに設置。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・事故対策マニュアル

評価項目Ⅱ-2-1(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input type="radio"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
<input type="radio"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・ヒヤリハット表を作成し、部屋に掲示している。 ・毎日のミーティング、職員会議等で事例検討を行い、改善策を考案している。 ・近隣の病院の一覧を各クラスおいてある。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・事故対策マニュアル ・事故報告書 ・職員会議録

評価項目Ⅱ-2-1(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input type="radio"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
<input type="radio"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・自治会長さんとの定期的な連携を図っている。 ・近隣の方との情報交換を、朝の掃除などを通して行っている。 ・戸部警察のスクールサポーターの方が定期的に訪問し、近隣で何かあったら報告して下さるようになっている。 ・すぐに対応できるよう、職員は笛を常備し、不審者の際の笛の音を定期的に子ども達にも聞かせ訓練している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・非常110番通報装置

評価分類類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="radio"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="radio"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="radio"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・トキワ保育園の保育目標を年度の初め、その後は適宜会議等で話している。日々の保育中にも実際気になる対応や発言を耳にすることがあり、その都度該当職員に対応の見直しを求めたり、職員の思い等もくみ取り対処するようにしている。 ・職員間でも周知できるよう、事例検討を会議で行っている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員保育マニュアル(個人票) ・職員会議録

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="radio"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・トラブルなどで一度落ち着く場面を作った方がいい場合は、2階の園長室を使ったり、事務室へ来て理由を聞くなど工夫をしている。 ・基本的にはスキンシップが一番大切だと考えているので、年齢関係なく抱っこをして落ち着けるように配慮している。		根拠(記録・配布物・掲示など)

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="radio"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="radio"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="radio"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・守秘義務や個人情報の取り扱いについては、年度の初め職員保育マニュアルに記載し配布・周知している。 ・入園式の説明会にて、おたより等への氏名・写真の掲載は口頭にて確認を行っている。その他必要があれば随時担任から保護者へ確認するようにしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員保育マニュアル

評価項目Ⅱ-3-(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input type="radio"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしていない。	
	<input type="radio"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・家庭の状況や、個人の様子などを細かく観察し、色分けやグループ決めでは好きな物を自由を選べるよう配慮している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・通常の保育で行っています。

評価分類類Ⅱ-4 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ-4-(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="radio"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input type="radio"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
<input type="radio"/> 入園時に配布する園のしおりやパンフレットなどに保育方針を明記している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・入園式にて園のしおりを配布している。個別面談も行っている。 ・毎年1回保護者と面談を行っている。(1時間程度) ・行事後アンケートを実施している。 ・担任がお迎えの時に、児童の園での様子や家庭での様子を聞きながら保護者と話をする時間を設けている。その際に気になったことがあれば園長に報告し園長がお迎えに出るケースがある。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・園のしおり ・全体懇談会資料 ・個別面談記録簿 ・苦情記録簿

評価項目Ⅱ-4-(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input type="radio"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
<input type="radio"/> クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・毎日の送迎時に今日の様子や健康状態など伝えるようにしている。 ・0、1歳のクラスと、個別対応を行っている子においては、保護者との連絡ノートの交換を行っており、家での様子や園での様子を共有できるようにしている。 ・年度の初めに全家庭と個別面談を行っており、日頃の様子や園や担任への要望などを聞くようにしている。必要があればその後も面談の時間を設けることがある。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・クラス懇談会資料 ・乳幼児連絡帳 個別対応連絡帳 ・個別面談記録簿

評価項目Ⅱ-4-(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input type="radio"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
<input type="radio"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・日々担任が保護者と話をすることで、信頼関係を築き相談をしやすい環境作りに配慮している。 ・必ず担任が聞いたことは園長に報告をし、複数体制で対応している。 ・必要があれば職員会議や職員間連絡ノートで報告・周知している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員間連絡ノート ・個別面談記録簿 ・職員会議録

評価項目Ⅱ-4-(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 「園だより」などを定期的に発行している。	
	<input type="radio"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input type="radio"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
	<input type="radio"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・クラス懇談会で日々の保育の様子を写真に撮り、掲示を作っている。 ・親子遠足などを実施し、クラス毎にお弁当を食べたりして交流を図るようにしている。 ・行事があった後などは、園だよりに写真を掲載したり、園だよりとは別に2ヶ月に一度クラスだよりの発行も行っている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・園だより ・クラスだより ・クラス懇談会掲示物

評価項目Ⅱ-4-(5)

保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input type="radio"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
	<input type="radio"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・年間行事に関しては、親子参加の行事はほぼ土曜日の開催にしている。 ・入園式にて、より沢山の方に参加してもらえるよう説明をする。 ・平日の様子に関しては、定期的な写真販売やお迎え時の話などで伝えるようにしていて、年度初めの個別面談後、保育室での様子を見てもらったり給食の様子を見てもらっている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・園のしおり(年間行事計画表)

評価項目Ⅱ-4-(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input type="radio"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
	<input type="radio"/> 保護者組織とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・トキワの会の役員の方々とは、必要があればその都度会議の時間を園にて設けるようにしている。 ・行事などで動く場合は、行事担当職員・園長が出席し、一緒に行事を盛り上げるように協力し合っている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・トキワの会会議資料

**評価領域Ⅲ 地域支援機能**

**評価分類Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供**

評価項目Ⅲ-1-(1)

地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="radio"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
<input type="radio"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・自治会の班長さん等と話す時間を設け、主に登降園の際の交通状況など、気になることがあれば話を頂くようにしている。 ・行事の際に、音や煙、においが出る場合、前もって近隣の自宅に伺い、状況を説明している。 ・地域の育児講座にて育児相談に乗っている。 ・夏祭りの地域の方の参加や、見学を随時受け入れていて、人伝いに訪問される方もいる。		根拠(記録・配布物・掲示など)

評価項目Ⅲ-1-(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input type="radio"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
<input checked="" type="radio"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・週に一度は公園へ散歩に行き地域の子育て中のお母さんと交流を図り、子ども達ともふれあえる時間を作っている。 ・園庭開放は随時という形にしていたが、卒園生のお母さんや在園児の知り合いのお母さんが多いため、平成30年度からは曜日を決めて取り組もうと考えている。 ・西区子育て地域連絡会の活動の一つである育児講座では、昨年園で提供するおにぎりレシピなどの配布を行った。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・園外保育記録簿

評価分類Ⅲ-2 保育所の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ-2-(1)

地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育所からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・近隣の方と情報交換や、見学に訪れた際など、育児相談に乗っている。		根拠(記録・配布物・掲示など)

評価項目Ⅲ-2-(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input type="radio"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
<input type="radio"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・健康関係の場合は、嘱託医である生駒英子先生に相談を持ちかけ必要であれば受診を勧めるなどして対応している。 ・その他の相談事項は基本的には西区役所へ連絡し地区担当の保健師さんに対応をお願いするようにしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・特に記載はないが、必要であれば職員間連絡ノートへ記入。

評価領域IV 開かれた運営

評価分類IV-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目IV-1-(1)

保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 保育所の行事に地域住民を招待している。	
	<input type="radio"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input type="radio"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="radio"/> 地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
<input type="radio"/> 近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っている。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例)	根拠(記録・配布物・掲示など)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生までの卒園生を対象に年間行事計画表を郵送している。</li> <li>東久保町会館の敬老会に招待され、マジックを見せてもらったり、4、5歳児のソーラン節を披露したりしている。</li> <li>昨年度からトキワ保育園は幼保小交流事業の実行委員をしており、公開授業や公開保育、地区別の交流会、講演会などの取り決めを行い、実施に協力している。実際担当職員を派遣し、交流活動を行っている。</li> <li>夏祭りや焼き芋会に地域の方をご招待している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠(記録・配布物・掲示など)</li> <li>卒園生への手紙</li> </ul>	

評価項目IV-1-(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
	<input type="radio"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input type="radio"/> 日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
<input type="radio"/> 地域の行事や活動に参加できるよう配慮している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例)	根拠(記録・配布物・掲示など)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>境之谷ログハウスや清水が丘公園にて園外保育を行う。</li> <li>年長児がそれぞれいく小学校を見におにぎりを持って散歩に出かけた。</li> <li>おやつに使う野菜や、プリンを八百屋さんやお店に買いに行く。</li> <li>小学校の未就学児童競技への参加や、年長児による一年生との交流会「学校へおいでよ」の参加を行っている。</li> <li>夏祭りなどにイベントにゲストとして参加し、体操を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外保育記録簿</li> <li>行事実施計画書</li> </ul>	

評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ-2-(1)

将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育所のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input type="radio"/> 外部の情報提供媒体に対して保育所の情報を提供している。	
	<input type="radio"/> 保育所として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・平成28年度ホームページを開設。 ・西区子育て地域拠点「スマイルポート」への掲示		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・ホームページ ・園PR原稿

評価項目Ⅳ-2-(2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。 <b>※必須基準</b>	
	<input type="radio"/> 保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input type="radio"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・園のしおりに沿って園長が見学希望者一人一人に対応している。 ・園パンフレットは作成中。ホームページをご案内している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・見学記録

評価分類Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ-3-(1)

ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して保育所の方針、利用者への配慮等を十分説明している。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input type="radio"/> 受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input type="radio"/> ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。	
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・実習生やボランティアの受け入れは担当職員を定めており、オリエンテーションから対応している。 ・必ず感想をもらうので、助言を行ったり、施設運営に反映させたりしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・実習生ファイル

評価項目Ⅳ-3-(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して保育所の方針、利用者への配慮等を十分説明している。 ※必須基準	
	<input type="radio"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input type="radio"/> 受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input type="radio"/> 実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。	
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・実習生やボランティアの受け入れは担当職員を定めており、オリエンテーションから対応している。 ・必ず感想をもらうので、助言を行ったり、施設運営に反映させたりしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・実習生ファイル

**評価領域 V 人材育成・援助技術の向上**

**評価分類 V-1 職員の人材育成**

**評価項目 V-1-1**

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育所運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input type="radio"/> 保育所の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input type="radio"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・行っているものの、園長と職員の個別面談の記録や、目標→行動→結果は書面には残っていないため、個人の自己評価を作成し、目に見える形にかえていこうと考えている。		根拠(記録・配布物・掲示など)

**評価項目 V-1-2**

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	B
	<input type="radio"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。 <b>※必須基準</b>	
	<input checked="" type="radio"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input type="radio"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input type="radio"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
<input type="radio"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。		
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・研修には積極的に参加しているものの、年間の計画となると難しく、日々の保育必要職員数を考えた上で、研修に参加している。 ・外部へ研修に行った際は必ず次の会議にて報告をし、全職員へ研修を行っている。 ・西区の研修実行委員会に所属し、積極的に参加している。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・研修記録 ・職員会議録

**評価項目 V-1-3**

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次のすべてに該当する。	A
	<input type="radio"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。 <b>※必須基準</b>	
	<input type="radio"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input type="radio"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
<input type="radio"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。		
B	必須基準を満たしている。	
C	必須基準を満たしていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・常勤非常勤共に同じ指導を行い、行事への参加、日々の保育を行っている。 ・指導担当者は基本的に園長が行い常勤職員と変わらずコミュニケーションを図るようにしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員保育マニュアル

評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の自己評価や、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれてい	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・日々ミーティングやクラス会議・全体会議などで、反省点や改善点を話し合い、次に繋げていく努力をしている。 ・年度の終わりと始まりは特に、マニュアルの見直しや勤務態勢の見直しを行い、よりよいサービスに繋げていけるようにしている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員保育マニュアル ・職員間連絡ノート

評価項目V-2-(2)

保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己評価し、それを文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている	
	<input type="checkbox"/> 自己評価は、計画で意図したねらいと関連付けて行われている。	
	<input type="checkbox"/> 保育の自己評価は、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育士等一人一人が自己評価を通して、自己の実践の改善やその後の計画作成に反映させている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・今までは園長との面談にて、トキワ保育園の保育とは・前年度の反省・今年度の目標を口頭確認し、日々のいろいろな相談事も受けられるようになってきた。今年度から、書面に残しそれを基に面談を行っている。 ・その他随時、時間を見つけては面談を行ったり、話し合ったりして、日々の保育をより良いものにするため努力している。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員保育マニュアル(個人票)

評価項目V-2-(3)

保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価の結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input type="checkbox"/> 保育士等の自己評価の結果から、保育所としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 保育所としての自己評価は、保育所の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所としての自己評価を公表している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・今年度は7月22日(土)職員会議にて報告検討会実施予定。 ・昨年度までの書面はないが、園長との面談にて話し合い議題が出た物に関しては、会議にて周知し保育に反映させている。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・職員保育マニュアル(個人票)

**評価分類V-3 職員のモチベーションの維持**

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input type="radio"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
<input type="radio"/> 個別の面接・調査等により、職員の満足度・要望などを把握している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例)	根拠(記録・配布物・掲示など)	
・業務改善の提案は日々行われており、アンケートの実施はしていないもの、日々の業務に反映させ、ミーティングや会議にて報告・周知している。	・職員保育マニュアル	

**評価領域VI 経営管理**

**評価分類VI-1 経営における社会的責任**

評価項目VI-1-(1)

事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input type="radio"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input type="radio"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・主に西区や横浜市からの通達の回覧。 ・新聞やインターネットニュースなど、全員に回覧したりメールにて送り周知するようにしている。 ・特に近年問題となるツイッターやフェイスブックなどへの掲載も一切禁止事項としている。 ・必要があれば緊急職員会議を開くこともある。		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b> ・就業規則 ・回覧ファイル

評価項目VI-1-(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input type="radio"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input type="radio"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
<b>取り組みの事例(その他の工夫事例)</b> ・太陽光の設置 ・無駄なエネルギーをなくす努力 (部屋の照明のコンセプトを理解し保育を行うこと)		<b>根拠(記録・配布物・掲示など)</b>

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-1(1)

保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input type="radio"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input type="radio"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・年度初めに職員保育マニュアルを配布し、前年度の反省や今年度に抱負を園長との面談で確認。秋頃、面談にて再確認及び次年度への考えを話す。年度終わりには時間を見つけて、反省考察次年度への意気込みなどを聞く。 ・必要であれば会議やミーティングにて検討する様にしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員保育マニュアル

評価項目VI-2-1(2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input type="radio"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input type="radio"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・平成26年、社会福祉法人を立ち上げ、H26年4月から平成27年6月まで仮園舎での保育を行い、園舎の建て直しを行った。 ・保護者には随時お手紙を配布し、状況報告を行った。場所の変更に伴う送迎方法の変更や、仮園舎での保育の不満など様々な問題を提起していただき話し合い解決していった。卒園式を仮園舎で迎えざる終えなかった年長さんは6月に新園舎へ戻った際、新一年生だけのお披露目会を行った。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・お知らせの配布

評価項目VI-2-1(3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	B
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイザーのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input type="radio"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している	
	<input type="radio"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせ的確な助言や指導を行っている。	
	<input type="radio"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・各クラスにリーダー保育士を配置し、日常の業務の全体像を把握するようにしている。 ・日々の保育の相談はもちろん、業務改善の提案をもらい、その都度話し合ったり、リーダー会にて相談したり出来るようにしている。 ・スーパーバイザーの育成に関しては、今後のリーダー会にて実施していく予定でいる。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員会議録

**評価分類VI-3 効率的な運営**

評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input type="radio"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input type="radio"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、保育所全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・運営面の課題においては、主要な職員間で随時ミーティングを行い、議論している。 ・必要な情報はリーダー会議にて議論し、更に全体会議にて周知される仕組みになっている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・職員会議録

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

**※注 本項目は、市立保育所については非該当の項目になります。**

判断基準		評価
※該当する場合は○を選択してください		
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input type="radio"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input type="radio"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input type="radio"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つは該当する、または全く行っていない。	
取り組みの事例(その他の工夫事例) ・気づいた点や疑問に思ったことなどは、外部の機関の専門家に聞いた りしている。		根拠(記録・配布物・掲示など) ・トキワ保育園事業計画

**施設のアピールポイント**

すべてのカテゴリーの記載をお願いします。

	アピールポイント
I 利用者本人の尊重	<p>子ども達にとって保育園生活は、パーソナリティ形成の一番重要な時期であるということを職員一同理解し保育に望んでおります。親からの遺伝的要素と生活する上での様々な環境の相互作用を理解し、より良い環境を子ども達と作っていくよう努力しております。その為には私たち職員と保護者が同じ方向を向き、共に子育てを楽しむことが大切です。毎日の送迎時や面談などで常にお話が出来るよう配慮しています。</p> <p>個性を大切にすることも心がけています。発達に見合った援助が出来るよう会議を行ったり、保護者と話をしたりして取り組んでいます。その中で、集団生活の中での居場所をしっかりと獲得し、協調性や自主性を養えるよう環境を整えています。</p>
II サービスの実施内容	<p>季節にあった行事を行う等、毎日の生活の中で子ども達が「わくわく」「どきどき」「なんで?」「知ってる!」と様々なことに興味を広げられるよう配慮しています。</p> <p>午睡を取り入れる上で、園での生活リズムだけでなく帰ってからの様子を保護者に聞くなどして、一日を通して子ども達に必要な睡眠リズムが獲得出来るよう個別に対応しています。私たち保育士は大切な命を預かる上で、安全面や衛生面には特に細心の注意を払っています。しかし、万が一防げなかった場合は適切に対応できるようマニュアル等を整備しています。私たちの園は送迎時のお支度を職員が行います。一分一秒を争う朝などは、支度をしない代わりにギューと子どもを抱きしめたり、手をしてお仕事に向かってもらいます。帰りは職員と話が出来るようにしています。</p>
III 地域支援機能	<p>見学を随時受け入れ、園内を案内したり園児と遊んだりしています。週に一度は公園に遊びに行き地域の方との交流を深めてきました。平成30年度は園庭開放や公園保育の曜日を決め、取り組んでいくように考えています。</p> <p>西区の合同育児講座に参加し、地域の方々を対象に子育て支援を行っています。直接子育てに関する悩みをお話しでき、その後園に遊びに来ていただいたりしています。</p> <p>子どもの健康状態や、感染症の情報など嘱託医である生駒先生に情報を求めるようにしている。地域でのご活躍もあるため園の保護者への情報提供にもつながりとても助かっています。</p>
IV 開かれた運営	<p>施設の老朽化のため建て替えを行い、平成27年6月に新園舎が完成しました。5月末には地域の方々へのお披露目会を行い、工事の際ご迷惑をおかけしたこと等を謝罪し、内覧していただきました。三世代にわたりトキワ保育園を利用して下さっているご家族の方など、懐かしい写真と共に思い出話に花が咲きました。</p> <p>夏祭りや焼き芋会に地域の方をご招待したり、町内会の敬老会に参加しソーラン節を披露し、マジックをみせてもらいました。</p> <p>園近くの藤棚商店街にあるかまぼこ屋さんに来てもらい、薩摩揚げ作りのクッキングを毎年行っています。お店にその日使う野菜やプリンなどのお買い物にも行っています。</p>
V 人材育成・援助技術の向上	<p>職員全員が一日8時間勤務を行い、早番・遅番はあるものの担任同士のコンセンサスがよりとれるよう配慮している。クラス会議や全体会議において全員の意見を反映できるよう取り組んでいます。</p> <p>園長と年に少なくとも2回、後は随時何かあるたびに話し合う時間を設け、一年の反省をもとに次年度へつながるよう話をしたり、自分自身の保育の向上への取り組みを行っています。職員が不満や疑問を言いやすい環境にするように、園長自身が直接保育へ参加したり、職員と日頃から話をするように心がけています。</p> <p>保育室の保育士の数に余裕があるときは、外部の研修にも積極的に参加させ、会議にて報告し全員に周知できるようにしています。</p>
VI 経営管理	<p>年度の切り替え時に、職員保育マニュアルを配布し、トキワ保育園の保育の全体像の説明や、昨年度の反省点を生かした今年度の取り組みなどを職員会議にて説明しています。</p> <p>各クラスにリーダーを置くことにより、クラス全体のとりまとめやリーダー同士が集まり会議することで、日々の保育への取り組みを見直したり確認することができ、更にそれをクラス会議等に反映させています。</p> <p>法人を立ち上げて3年目ということもあり、運営に関しては日々模索しています。他園の園長先生と交流を図ったり、幼保小の実行委員をさせていただく等、積極的に外部との関わりを増やし自園の向上に取り組んでいます。</p>

## 施設が課題と考えていること、取り組んでいきたいこと

事業者が課題と考えていること、改善に向けた取り組み、今後取り組んでいきたいこと

[課題と考えていること]

トキワ保育園の保育を言葉で伝え実際の保育にいかすことの難しさを日々感じています。それは職員の育成にも関わること、伝えている事をどこまで理解し保育に繋げてもらえるか、伝え方一つをとっても十人十色で中堅職員にもそれを伝えていくとなると時間がかかることが避けられません。子ども達にとっての一年はあっという間で、一日一日がとても意味のある時間なんだというところを職員には理解して欲しいと思っています。

[改善に向けて取り組んでいること・今後取り組んでいきたいこと]

常に職員の言動を確認したり、声をかけたりすることで日頃から話しやすい雰囲気を持ってもらえるよう配慮しています。

リーダー会などでも伝えていますが、保育士経験の浅い職員には、日頃から声をかけることを意識するようにしています。どうしたらいいのか、これであっているのか、体調が良くない等、そのままにしていると子ども達にも影響が出かねません。先輩の行動をみて覚えていく…ということが難しい今の時代、上に立つ者が意識して変えていかなくてはいけないのかもしれない。

[課題と考えていること]

地域との関わりが明確になっていないということ。

[改善に向けて取り組んでいること・今後取り組んでいきたいこと]

随時見学を受け入れたり公園へ散歩に出かけ交流したりと日々行っていますが、何曜日の何時頃という明確なものはありません。新園舎での保育も3年目を迎え、定員外受け入れなども行い、日々の保育も行事も一年間の流れが確実なものになってきました。今年一年会議等を通して職員と検討し、平成30年度より「園庭開放」や「公園保育」を充実させていきたいと考えております。

[課題と考えていること]

[改善に向けて取り組んでいること・今後取り組んでいきたいこと]